



柳原三佳

やなぎはらみか
バイク雑誌の編集記者を経てフリーに。
交通事故を主なテーマに執筆する他、
TV出演、講演活動も行う。本誌「週刊朝日」に連載した交通事故の告発ルポは、自賠責制度の大改正につながり話題を呼んだ。また検視や司法解剖に関する取材も精力的に行い、日本の死因究明のひずみを鋭く指摘している。最新刊「自動車保険の落とし穴」「焼かれる前に語れ」「交通事故被害者は二度泣かされる」など著書多数。自らも限定解除のナナハンライダーである。



現在の愛車・WR250X。各部に身体の状態に合わせた詳細な改造が施され、丸野さん仕様生まれ変わった。

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

# それでも私はあきらめない PART2

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

# 右足切断を乗り越え、ライダー復活！ 「障がい者になつたから出来ない」ではなく、「今の自分に何が出来るのか？」を探し、挑戦し続けよう

本誌3月号で、右足が義足にもかかわらず2輪免許を更新し「ピアジオMP3」に乗っている北九州市の中笠さんを取り上げた。その記事を読んだすぐに投稿をくださったのは、中笠さんと同じく事故で右足を切断し、義足でバイクに乗り続けているという埼玉県の丸野飛路志さん(47)だった。ある日遭遇した交通事故で、九死に一生を得た彼は、自身の障がいとどのように向き合い、そしてどう乗り越えていったのか……。パワー溢れる「メッセージ」をご紹介します



事故から2ヶ月後、見舞いに来た家族と共に。

丸野さんが事故で遭ったのは、今から10年前、2000年5月27日のこと。スキの刀750改に乗って奥多摩にツーリングに行った帰り、右カーブの入り口付近で、突然、センターラインオーバーの対向車(110トラック)が突っ込んできたのだ。

「僕は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

「右足は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

丸野さんから、義足に関する詳細なメールをいただいたのは、3月号が発売されて間もなくのことでした。「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

「義足の構造とブレーキ仕組みは大体分かってもらえたのですが、ここでひとつ問題になったのは排気量でした。もともと私は限定解除していたのであまり気にしていなかったのですが、担当者の方から二輪のMTにのるなら250cmまでと言われました。250cmという排気量に明白な根拠はなさそうでした。改造ベースの車両が250cmだったのでそういうことにしたようです。250cm以上のオートバイに乗りたくしたら、その時にまた今回と同じ条件解除が必要で、対応はその都度行なってくれるとのことでした。ただ想像していた以上に担当者の方々の対応が親切で、協力的なことには驚きましたね。」

丸野さんから、義足に関する詳細なメールをいただいたのは、3月号が発売されて間もなくのことでした。「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

丸野さんが事故で遭ったのは、今から10年前、2000年5月27日のこと。スキの刀750改に乗って奥多摩にツーリングに行った帰り、右カーブの入り口付近で、突然、センターラインオーバーの対向車(110トラック)が突っ込んできたのだ。

「僕は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

「右足は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

柳原三佳・新刊のお知らせ
まきこ ことばま
『巻子の言葉～愛と命を紡いだ、ある夫婦の物語』
(柳原三佳著/講談社) 2010年6月末出版
ある日突然遭遇した交通事故で、四肢麻痺という重い障がいを持ったまきこさん。彼女が自らの意志で動かせるのは、まぶただけ。その動きをもとに、ご主人は二人三脚で彼女の言葉を拾い上げていく……。
命とは？ 愛とは？ 夫婦の絆とは？ 事故からの壮絶な4年間を綴りながら、ひとつの家族のストーリーが掘り起こされ、さらに、弱者を苦しめるこの国のさまざまな制度に問題を投げかける。

読者のみなさまへ
「ミスター・バイク」は、私にとって、女子高生時代から愛読していたバイク雑誌でした。また、「瞬の真実」は、1990年から、なんと約20年たった連載させていただき、数多くの交通事故を取材してきました。20年も経つなんて？ 信じられないと思います。お世話になった皆様には、心よりお礼申し上げます。
とりあえず、この連載も今回で一旦お休みとなりますが、丸野さんのように苦境に立たされても、さらに前向きに、好きなことに向かってチャレンジしていくこと、大切ですね。
バイク大好き！ だからいつまでも、命を大切に、走り続けていきたいと思います。

丸野さんから、義足に関する詳細なメールをいただいたのは、3月号が発売されて間もなくのことでした。「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

丸野さんが事故で遭ったのは、今から10年前、2000年5月27日のこと。スキの刀750改に乗って奥多摩にツーリングに行った帰り、右カーブの入り口付近で、突然、センターラインオーバーの対向車(110トラック)が突っ込んできたのだ。

「僕は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

「右足は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

丸野さんから、義足に関する詳細なメールをいただいたのは、3月号が発売されて間もなくのことでした。「3月号で記事になっていた大隈義足・シールグ(Ciege)ですが、確かに機能としては大変良い物で、右足大腿部から切断している私も使っていました。しかし、荷重ブレーキが付いていないので義足側ではバイクを支える事は出来ません。」

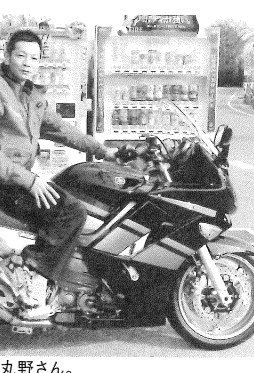
丸野さんが事故で遭ったのは、今から10年前、2000年5月27日のこと。スキの刀750改に乗って奥多摩にツーリングに行った帰り、右カーブの入り口付近で、突然、センターラインオーバーの対向車(110トラック)が突っ込んできたのだ。

「僕は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」

「右足は一応、緊急手術でつながりまして、結局、事故から9ヶ月後、自分の意思で右足大腿部上部切断手術を受けました。術後が一番痛かったのですが、事故後苦しめられていた右足の激痛から開放された一面もありました。翌朝には、痛みを自分の中に取り込む事が出来、妻に頼んで美味しいホットコーヒーを飲んだことを思い出します。」



車椅子バスケットでの雄姿



FJR1300にまたがる丸野さん。

改造バイク持ち込みで免許条件変更成功
本誌3月号で、右足義足の中笠さんが二輪車側車付きに限り、二輪車はブレーキを操作上有効な状態に改造したものの、義足(AT車を除く)という条件付きの2輪免許を更新したこと知った丸野さんは、早速、中笠さんに直接連絡を取ってアドバイスをもらい、埼玉県鴻巣運転免許センター(適正相談室)に免許証の条件変更について確認に行きました。